

平成30年度の事業計画などが承認された芝蘭会評議員会・理事会



事業計画など5議案承認

芝蘭会評議員会・理事会

平成30年3月17日(土)芝蘭会館別館に於いて芝蘭会評議員会および理事会が開催された。

議案は、(1)平成30年度事業計画及び収支予算について、(2)役員(理事)の選任について、(3)第5回芝蘭会代議員選挙の実施について、(4)芝蘭会会員名簿の作成について、(5)その他についてで、議案(1)については、平成30年度事業計画(案)及び収支予算(案)について説明があり、原案どおり承認された。

議案(2)については、理事の相馬俊臣氏、菊池晴彦氏、佐古伊康氏、成宮周氏、二木隆氏、大高道也氏、隠岐尚吾氏が平成30年6月で任期満了(4期)となること、並びに眞鍋克次郎氏からの辞任の申し出により、後任の理事の選任を行う必要があることの説明があり、引き続き、選挙日程について説明が行われ、審議の後、承認された。

また、議長より、評議員の任期に関し、実態との整合性を図るため、改正を行いたい旨の提案があり、審議の後、承認された。

議案(3)については、第5回芝蘭会代議員選挙の実施について説明が行われ、審議の後、承認された。

議案(4)については、芝蘭会会員名簿の作成について説明が行われ、審議の後、承認された。

議案(5)については、報告事項が5件あり、1件目は、山田事務局長より芝蘭会の会員数及び会費の納入状況等について報告が行われた。

2件目は寺西産学情報交流部長より、「医学領域」産学情報交流クラブ登録会員規約の一部改正について説明と報告が行われた。

3件目は、上本会長より京都大学医学部教育研究支援基金の募金状況について報告が行われた。

4件目は、山田事務局長より平成29年度の京大病院小児入院患者の家族の芝蘭会館別館の客室利用状況について報告が行われた。

5件目は、山田事務局長よりレストラン及び会議室における平成28・29年度売上比較について説明と報告が行われた。

議案の審議終了後、報告事項が5件あり、1件目は、山田事務局長より芝蘭会の会員数及び会費の納入状況等について報告が行われた。

2件目は寺西産学情報交流部長より、「医学領域」産学情報交流クラブ登録会員規約の一部改正について説明と報告が行われた。

3件目は、上本会長より京都大学医学部教育研究支援基金の募金状況について報告が行われた。

4件目は、山田事務局長より平成29年度の京大病院小児入院患者の家族の芝蘭会館別館の客室利用状況について報告が行われた。

5件目は、山田事務局長よりレストラン及び会議室における平成28・29年度売上比較について説明と報告が行われた。

退任あいさつ

先端医療開発へたぎる思い

京都府保健環境研究所 京都市大名堂教授、京都府立医科大学 大特任教授

前川 平



京都府保健環境研究所 京都市大名堂教授、京都府立医科大学 大特任教授

平成14年1月に東京大学医学部研究所(医科学)から京都大学医学部附属病院輸血部教授に就任し、以来足掛け17年間が過ぎ、大過なくその任を終え、本年3月末をも

球数をコントロールするのみで、やがて訪れる急性転化には無力でした。比較的若く骨髄移植しかなければと思われる場合もDNAが見つかっていませんでした。インターフェロンによる治療も奏功率は低く、連日の自己注射は患者さんにとってかなりの負担で、重篤な副作用も少なからず経験いたしました。約30年前、もっとCML特異的な治療法が開発できないかと、腫瘍

特異的な融合遺伝子を標的にした核酸医薬の開発研究に没頭する中で、米国の共同研究者から我が国には先端医療開発に必要なインフラが決定的に欠落していることを知らされ、愕然としたことを昨日のように思い出します。

当時の我が国は、血液疾患だけではなく、種々の新しい治療法の開発には大きな壁があり、これを何とか克服しなければならぬと痛感いたしました。

その後、医科研に異動し、細胞治療についても同様の壁があることを知り、これを克服するためにインフラの整備に務め

てまいりました。

私のライフワークは、造血器腫瘍やがんに対する疾患特異的な治療法の開発であります。新しい治療法を開発するために、臨床研究医は科学的基礎研究を追求するのみならず、臨床応用(トランスレーショナル・リサーチ)を実現させるためのインフラにいたるまで、幅広い知識と先を見通す慧眼が必要というのを持論であり、教室の運営には、各構成員間の良好なコミュニケーションこそが重要と考え、忌憚のない意見と自由闊達なアイデアをもとに、若い人たを育て上げること

を目標としてまいりました。

そして、わずかに教員3名の最も小さい部門ではありますが、今までに600名を超える見学者を受け入れました。

本学の各診療科における細胞治療や再生医療開発に多少なりとも貢献できたのではないかと自負しております。

国際標準の臨床研究や医師主導型治療を行うためには、質の高い臨床試験を行える体制づくりが急務であります。

京都大学に赴任して以降、特にこの数年間、我が国においても新しい治療法開発のための制度づくりが急ピッチで進んでまいりました。先端医療開発をその使命とする京大病院も、医療法に基づく

「臨床研究中核病院」として平成29年に承認を受けており、本院における先端医療開発は加速し、今後ますます発展してゆくと期待しております。

現在、京都大学を離れ、伏見は龍馬ゆかりの寺田屋近く、京都府保健環境研究所に勤務しておりますが、隣接して新しい研究所の建設が始まっております。この研究所が人々の健康増進に寄与すべく、どのようなビジョンを描き、今までの基盤をもとにどのように発展させてゆくか、日々模索しているところであります。

今後とも、芝蘭会の諸先生方からの変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

「再生医療新法」が整備され、加えて平成30年4月には「臨床研究法」が施行されました。

約30年前、我が国の現状を憂いた状況を振り返りますと、ようやく先端医療開発を支える体制が整うこととなったわけであり、新たな治療法を開発して一日も早く臨床の現場に、病に苦しむ患者さんの手元に届けることが京大病院のもつ大切な責務となると同時に、我が

国のみならず世界からも大きな期待が寄せられているところであり、

芝蘭会館別館をご利用ください

古都の風情に彩られた空間で、みなさまのお集り、ご宿泊をサポートさせていただきます。学会やシンポジウムへのご出席はじめ、同窓会などのお集まりや、京都観光のご宿泊に、芝蘭会館別館[国際交流会館]をご利用ください。



芝蘭会館別館へのアクセス

- 京都市駅から ●D2東場 市バス206系統「東山通北大路/バスターミナル」行「京大正門前」下車 徒歩2分 ●地下鉄「国際交流会館」行「今出川」下車 徒歩3分 ●市バス201系統「百万通・祇園」行乗換「京大正門前」下車 徒歩2分
- 阪急河原町駅から ●出口6番 市バス201系統「百万通・祇園」行、31系「統熊野・岩倉」行「京大正門前」下車 徒歩2分
- 京阪出町柳駅から 徒歩15分

客室ご利用料金 (税込)				
シングル (18室)	定員1	6,800円		
ツイン (3室)	定員2	12,700円 (シングルコース10,400円)		
デラックスツイン (1室)	定員2	15,000円 (シングルコース12,700円)		

京都市条例により平成30年10月1日からお一人様1泊に対し、宿泊税200円を別途ご負担していただきます。

研修室・会議室ご利用料金 (税込)				
ご利用時間	9:00~12:00	13:00~17:00	18:00~22:00	超過料金
研修室1・2	定員60名	15,000円	18,400円	4,600円
会議室B1	定員20名	9,800円	11,500円	3,000円
和室1・2	定員10名	6,300円	8,000円	2,300円

一般社団法人 芝蘭会 (しらんかい)

芝蘭会館別館

〒606-8302 京都市左京区吉田牛の宮町 11-1
Tel. 075-771-0958 Fax. 075-752-4015
E-mail: info@shirankai.or.jp
http://www.shirankai.or.jp

レストラン [しらん] Tel. 075-752-1027

退任あいさつ

公衆衛生の地歩を固める

公益社団法人 京都保健会
社会健康医学福祉研究所長 小泉 昭夫



2000年4月1日に、秋田大学から京都大学に赴任し、本年の3月31日に退職を無事迎えることができました。身近な課題の解決に勤しんだ18年(道自在咫尺)。18年の間ありがたいごさいます。2000年からわが国公衆衛生分野において、確

よる放射能汚染と被ばく線量のリスク評価、避難による長期健康影響など成果を上げることができました。さらに単一遺伝性疾患では、ハートナック病の遺伝子を見出し、脊髄小脳変性症SCA36について疾患としての確立と原因の特定も行うことができました。環境の健康への影響を、環境と遺伝要因の相互作用から見るアプローチは、われわれの独自のものあり、その成果として、もやも病の遺伝子であるRNF213(myosin)の発見と単離、東アジア人の創始者変異R850Kを発売することができました。また、小児の不思議な疼痛疾患「小児四肢疼痛発

感染制御と医療安全文化の醸成

滋賀県立総合病院 総長・病院長 一山 智



本年3月31日をもって京都大学医学研究科臨床病態検査学教授を退任いたしました。退任にあたり芝蘭会の皆様にご挨拶を申し上げます。私は平成10年3月1日に名古屋大学からこちらに赴任してまいりました。当時の検査部は24時

授のご出身が本学内科学第二講座であり、その教室出身の教員が多数を占めていました。新教授を選任する際の教授会の議論でもそのことがひとつの争点であったようです。私には平成17年から医療安全担当副病院長を務めてまいりました。医療安全は先進医療を遂行する上で無くてはならない取り組みです。副病院長時代に京大病院職員に医療安全文化を醸成することができ、京都大学で医療安全専任教授が選出されましたことは、私にとり大変大きな喜びとなりました。最後に、芝蘭会の皆様には在職20年間にわたり大変お世話になりましたことを、あらためて感謝申し上げます。

フロンティアとして41年

独立行政法人労働者健康安全機構
浜松労災病院長 鈴木 茂彦



2003年1月に香川医科大学から京都大学形成外科学教授として戻り、15年余り務めてまいりましたが、本年3月31日をもって定年退職いたしました。

私は、1977年京大病院に形成外科診療科が開設された年に入局した一期生です。翌年浜松労災病院に形成外科が新設され、初代常勤医師として

て勤務いたしました。その際、病院の皆さんに助けていただきながら重症熱傷患者の治療を経験したことが、「瘢痕の制御」と「真皮の再生」という私の終生の研究のモチベーションになりました。このたび縁あって、4月から私の第二の故郷ともいえる浜松労災病院にて院長として勤務しております。1983年から形成外科最初の大学院生として、京都大学医用高分子研究センター(現・再生医学研究所)と共同で人工皮膚の開発を始めました。主研究テーマを他

世界をリードするセラピストの育成を

人間健康科学系専攻 坪山 直生



平成30年3月末をもって25年近く勤めた京都大学を辞し、4月から佛教大学保健医療技術学部に着任しております。長い間どうもありがとうございました。整形外科での骨・軟部腫瘍や骨粗鬆症の診療、骨代謝学の研究、人間健康科学系

専門医であるからというだけで、理学療法士・作業療法士が務まるわけにはありません。研究の着眼点や自家薬籠中の方法論についても同様です。そして、京都大学が目指す真に優れた先端医療の開発・実践のためには、包含されていない専門性からの関与が必須です。諸国の先頭を切って超高齢社会を突っ走る我が国にとって、運動器の健康は益々重要な課題です。高齢者の生活を充実させる、これからの世代の基本的な健康を増進させて社会を活性化するため、今こそ運動機能・生活機能の専門家たる理学療法士・作業療法士、および有資格研究者の知恵・能力を最大限に活かすべき時です。研究の原動力の根源は

京都大学医学部 校友会・教育研究支援基金

(KMS・FUND) だより

〒606-8501
京都市左京区吉田近衛町
京都大学医学研究科事務部
総務企画課企画広報掛
Tel.075-753-4695
075-753-4322
Fax.075-752-1528
Mail-Address:
kyoto-kms-fund@office.
med.kyoto-u.ac.jp

ハードとソフト充実目指す

KMS・FUND委員長 妹尾 浩



平成30年度の京都大学医学部教育研究支援基金(KMS・FUND)委員会委員長を仰せつかりました妹尾浩と申します。昨年度から委員を務めさせていただいております。京都大学も「綺麗なキャンパス」に生まれ変わりつつありますので、今後はハード面のさらなる向上に加えて、機能面を充実させ、将来予想される様々な取り組みに対応できるように、KMS・FUNDの活動をより一層発展させて参りたいと考えております。

皆さまご承知の様に、KMS・FUNDは「学部学生の学習や研修活動の教育支援、大学院生の研究活動などの研究支援」を主な目的として設立されました。いただいた篤いご支援により行ってきた数々の事業のうち、代表的なものとして、まず最大の事業であるとともにハード面でも大きく学部学生の生活を豊かに変えた医学部学生会館の建設があげられます。平成22年の竣工以来、内外の環境整備を重ね、クラブ活動の部室として、また24時間利用可能な自習室として活用出来る充実した空間を学部学生に提供しています。その後平成27年に行われた医学部

に対応するためにも、臨床実習の期間が大幅に延長され、関連病院に多くの学外実習をお願いしていることはご承知の通りです。同様の仕組みは複数の大学で取り入れられておりますが、京都大学の特徴として、西は福岡県から東は静岡県までの非常に広い範囲の病院からご協力をいただき、地域医療を含めた臨床実習を展開していることがあげられます。各病棟からは宿舎の提供や交通手段へのご配慮を頂戴しておりますが、KMS・FUNDとしてハードとソフト両面の充実を目指して参ります。さらに継続的なご支援をお願い申し上げます。

額を回しているところで、KMS・FUNDを支えるご寄付として、これまで5億円近いご厚意を頂戴して参りました。ひとえに芝蘭会の先生方、校友会の皆さま方の温かいお気持ちの賜物と、改めて御礼を申し上げます。その一方でKMS・FUNDが取り組むべき課題は、まだまだ山積しております。京都大学医学部、医学研究科は、世界的な教育、研究、医療機関を目指し、常に厳しい競争に晒されております。そのため新たな視点を取り入れつつ、学生のキャリア形成に資する取り組みを積極的に進めて参ります。KMS・FUND事業のハードとソフト両面の充実を目指して参ります。

平成30年 教育研究支援基金 (KMS-FUND) 委員会委員

委員長	妹尾 浩	消化器内科学 教授
	斎藤 通紀	機能微細形態学 教授
	伊達 洋至	呼吸器外科学 教授
	大森 孝一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 教授
	小杉 眞司	医療倫理学 教授
	山田 重人	運動機能解析学 教授
	陣上 久人	大学院教育コース 教授
	山田 均	芝蘭会事務局長
	廣瀬 幸司	医学研究科事務部長

本日は私たちのために卒業祝賀会を開催してくださり、ありがとうございます。卒業生を代表して挨拶させていただきます。

「京大医学部に行きたい」という気持ちを抱いて入学試験に臨んだとき、「京大医学部で学ぶ」とはどういうことなのかを知りませんでした。大学受験までは偏差値というものがあり、隣にいる子より1点でも高い点数をとることで受験勉強を勝ち抜くことができました。しかし京大に入学してそのような競争がなくなってしまった今、選択

学びながら得た自身の変化

卒業生代表あいさつ
石橋 菜実



効率的に得られるかもしれないが、その先生が培ってきた知識の体系を先生自身の言葉で話していただける時間は心惹かれるものでした。門を叩けば、教師と生徒という一方向的な関係ではなく、個人と個人として向かい合っていたことが、先生方それぞれの世界を覗かせてくださいます。第三者からの評価に左右されずに自身の納得のいく生き方を重ねていく、そんな先生方の姿は魅力的に映りました。

肢が溢れているこれからの人生では、自分を周りと比較して優越感や劣等感を感じることに何の意図もありません。「自由の校風」とは何をしても許されるという意味ではなく、自分でこれだと思いう選択を自在にできるというものでした。何をすればいいのかわからない、委ねられる、この大学という環境に身を置いてはじめて「自分はどこで何をしたいのか」を考えるようになりまし。

たくさん語記している事ではなくて、心を広く持つという事なんだ。(略) 学問なんて、覚えると同じ時に忘れてしまってもいいものなんだ。けれども、全部忘れてしまっても、その勉強の訓練の底に一つかみの砂金が残っているものだ。これだ。これが貴いのだ。勉強しなればいかに。そうして、その学問を、生活に無理に直接に役立てようと思っせてはいかぬ。ゆつたりと、真にカルチベートされた人間になれ！」

医学部は「医師を養成する職業訓練の場」である一方で「医学という学問をする場」でもあります。「学問」について太宰治の「正義と微笑」より、ある教師が学生に向けて残した言葉を紹介します。

「正義と微笑」より、ある教師が学生に向けて残した言葉を紹介します。これからの学生生活を終えるにあたり、「何になら

第11回京都大学医学部校友会 総会・講演会のお知らせ

日時 平成30年9月22日(土) 午後1時より
場所 芝蘭会館本館 稲盛ホール、山内ホール
特別講演
住友史料館主席研究員 海原亮 先生
講演会終了後、懇親会パーティー
申し込み受け付けは、おって連絡します。

人事異動

Table with columns: 発令年月日, 氏名, 異動内容. Lists personnel changes including appointments and resignations for various departments.

会員計報

謹んでご冥福をお祈りいたします。

Table listing deceased members with columns for name, birth date, and death date.

芝蘭会報編集委員会 委員長 高折晃史 委員 斎藤信雄、中村保幸、山田圭介、園部誠、松村由美、阿部恵、諫田淳也、顧問 高折晃史、梅本大地、井上大志、菅原聡真、朴剛史、蔡嗣錡(以上6回生)、吉平智博、池尻憲生、勝馬千裕(以上5回生)、加古敦也、松本一希(以上4回生)、谷本将崇、西垣利彦、西村健太、小野譲騎(以上3回生)、原明弘、森田瑛、秋宗俊久、吉村太貴、権井良太、朗(以上2回生)

原稿募集

芝蘭会報は、会員の皆様の情報交換・意見発表の場です。支部活動、クラス会、会員の著書の紹介(自薦・他薦)及び医学・医療等に関するご意見等を寄稿ください。...

●事務局から●

平成17年4月からの「個人情報保護法」の全面施行により、個人情報の取り扱いに厳しい制約が課せられました。つきましては会員の連絡先等のお問い合わせは、必要理由等を明記の上、郵便またはFAXにより事務局までご送付ください。...

【ご注意】

最近、芝蘭会員の方々へ芝蘭会員または京大医学部事務職員の名前をかたって、個人情報(住所、電話番号等)を聞き出そうとする不審な問い合わせの電話があるということを会員の方からご連絡をいただいております。芝蘭会とは全く関係がございませんので、くれぐれもご注意くださいようお願いいたします。

なお、芝蘭会では会員の方から住所変更等のご連絡がない限り、事務局からはお問い合わせはいたしていません。ご不審なことがありましたら、芝蘭会事務局までご連絡ください。

芝蘭会事務局 TEL: 075-751-2713 FAX: 075-752-4015